

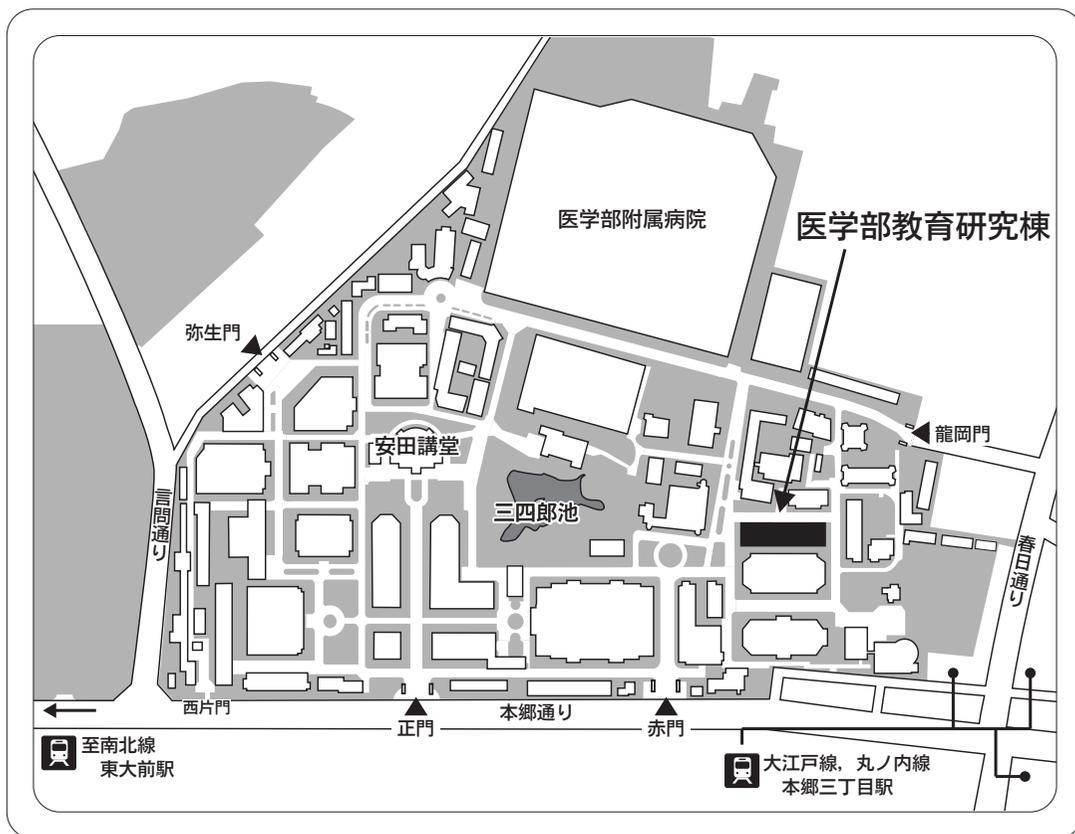
# 第 565 回

## 日本小児科学会東京都地方会講話会

### プログラム

日 時 平成 21 年 5 月 9 日 (土) 午後 2 時 00 分

場 所 東京大学鉄門記念講堂(医学部教育研究棟14階)



#### 演題の申し込みについて

1. 講話会の当日、文書で提出、もしくは e-mail で事務局宛送ってください。
2. 抄録 (160字以内) をおつけください。
3. 原則として指定発言をつけてください。
4. 演者、指定発言者は、当日二次抄録 (200字以内) を提出してください。(日本小児科学会誌掲載の為)

#### 世話人

プログラム係  
帝京大学 小児科

志賀 勝秋  
03 (3964) 1 2 1 1  
FAX 03 (3579) 8 2 1 2

#### 会場係

東京大学小児科 03 (3815) 5 4 1 1 内線 3 3 4 5 3  
直通 (FAX) 03 (3816) 4 1 0 8

#### 事務局

03 (5388) 7 0 0 7  
e-mail: jpstokyo-office@umin.ac.jp

# 第 565 回 日本小児科学会東京都地方会講話会演題

(1 題 6 分, 指定発言 5 分, 追加討論 3 分以内, 厳守のこと。○印演者)

第 1 グループ 14:00—14:35

座長 金子 衣野 (金子医院)

## 1) 当院で経験した重症インフルエンザ菌感染症の 2 例

- 高畠 和章, 小寺 美咲, 奥村さやか, 仁後 綾子, 下田木の実,  
清水 伸泰, 小高 学, 柳原 知子, 和気 彰子, 榊原 裕史,  
松岡 典子, 小鍛冶雅之, 寺川 敏郎, 横路征太郎 (東京都立府中病院小児科)  
早川依里子 (太陽こども病院)  
八谷 靖夫 (東京都立神経病院小児科)

症例 1 は 2 歳女児。けいれん重積で当院救急搬送。敗血症, DIC を合併した細菌性髄膜炎で, 抗生物質投与にて救命できたが神経学的後遺症を残した。症例 2 は 4 歳女児。発熱後吸気性喘鳴の進行を認め, 急性喉頭蓋炎と診断し挿管, 救命した。インフルエンザ菌感染症は急激な経過をたどる重症感染症もあり, Hib ワクチンの早期普及, 定期接種の導入が期待される。

指定発言 渡辺 博 (東京大学小児科)

## 2) 空腹時の神経症状増悪を契機に診断されたグルコーストランスポーター I 欠損症の 1 例

- 北村 裕梨, 安部 信平, 奥村 彰久, 原 聡, 青柳 陽,  
鈴木 光幸, 和田万里子, 染谷朋之介, 春名 英典,  
藤井 徹, 鈴木 竜洋, 清水 俊明 (順天堂大学小児科)  
柳原 恵子, 山田 穰, 柳原 格  
(大阪府立母子保健総合医療センター研究所免疫部門)

症例はてんかん・神経発達遅滞の診断でフォローされていた 4 歳女児。妊娠分娩歴に異常はなかった。空腹時に体幹失調等の症状を認めたため, 精査目的で当科入院。空腹時の髄液血液糖比および赤血球糖取込能の低下を認めたため, グルコーストランスポーター I 欠損症の診断に至った。比較的新しい疾患概念であり, 文献的考察を加え報告する。

## 3) 40 歳代に末期腎不全で死亡した Joubert 症候群の 1 例

- 平山 恒憲<sup>1) 2) 3)</sup>, 氏家 二郎<sup>2)</sup>, 村上 睦美<sup>3)</sup>, 藤野 修<sup>3)</sup>, 仁保 幸次<sup>4)</sup>, 小野 伸高<sup>5)</sup>  
<sup>1)</sup>(東京都立東大和療育センター小児科), <sup>2)</sup>(国立病院機構福島病院小児科),  
<sup>3)</sup>(日本医科大学小児科), <sup>4)</sup>(には小児科), <sup>5)</sup>(公立岩瀬病院病理)

Joubert 症候群は, 筋緊張低下, 失調, 精神遅滞, 眼球運動障害, 新生児期の呼吸障害を示し, 頭部 MRI で Molar-Tooth-Sign という特徴的な所見を有する常染色体劣性遺伝病である。小児期に末期腎不全にて治療を要することがあるが, 我々は 40 歳代で末期腎不全にて死亡した症例を経験した。尿一般所見では異常なく, 病理所見で高度の尿管障害と間質の炎症細胞浸潤を認めた。Joubert 症候群の原因遺伝子は多数発見されており, 表現型も様々である。文献的考察を含めて発表する。

第2グループ 14:35—15:30

座長 中村こずえ（帝京大学病院小児科）

4) 血小板減少で発症し、MDS、AMLに移行した姉弟例

○小森 暁子, 平井麻衣子, 加藤麻衣子, 梁 尚弘,  
七野 浩之, 陳 基明, 麦島 秀雄（日本大学板橋病院小児科）

血小板減少で発症し、その後MDS/AMLに移行した姉弟例を報告する。8歳の弟はMDS acute leukemiaに対し、2度の非血縁者間骨髄移植（U-BMT）を行い、現在無病生存中であり、14歳の姉はMDSで今後U-BMTを予定している。

指定発言 谷ヶ崎 博（日本大学板橋病院小児科）

5) 気道リモデリングにより、換気機能が改善したと考えられた慢性肺疾患女児の1例

○近藤 信哉, 小保内俊雅, 小濱 雅則, 塩津 麻美, 二宮 康高, 玉川 公子  
（東京都保健医療公社多摩北部医療センター小児科）

妊娠27週、体重930gで出生し、人工換気を受けた。父親は生涯喘息患者である。下気道肺感染を反復し、月齢9に来院。気道壁弾性の成長を待つ間、気管支拡張剤クロノセラピーを継続した。学童期までに下気道肺感染は激減したが、1秒量改善をみなかった。15歳を過ぎ、気道リモデリング成熟を示唆するFV曲線と著明な1秒量改善をみた。

6) 胸腔鏡下に一次的根治術を施行した先天性食道閉鎖症の1例

○清水 彰彦, 伊藤 直樹, 岡本 陽子,  
西村 力, 五石 圭司, 五十嵐 隆（東京大学小児科）  
小高 哲郎, 杉山 正彦, 金森 豊, 岩中 督（同小児外科）

先天性食道閉鎖症は、生後早期に一次的根治術や胃瘻造設術などを必要とする疾患である。これまで根治術は、侵襲も大きく、術後の合併症も大きな問題であった。今回、我々は、胎児エコーにて疑われた先天性食道閉鎖症C型に対して、日齢0に胸腔鏡下で一次的根治術を行い、安全に管理し得た。胸腔鏡手術について文献的考察を加えて報告する。

指定発言 岩中 督（東京大学病院小児外科）

7) HHV-6陽性の川崎病2症例

○益田 博司, 藤丸 拓也, 大石 芳久, 小穴 慎二, 阪井 裕一（成育医療センター総合診療部）  
伊藤 秀一（同腎臓内科）

川崎病主要症状5項目とBCG痕の発赤を認め、HHV-6陽性であった2症例を経験した。1例は経過観察、1例はγグロブリン大量療法を行ったが、その妥当性について御検討いただきたい。当センター（病院・研究所）では、川崎病の原因・本態を解明し、適切な治療戦略を確立すべく、サイトカインの解析を行っているので、あわせて報告する。

指定発言 阿部 淳（成育医療センター研究所免疫アレルギー研究部）

休 憩 15:30—15:40

感染症だより 15:40—15:50

座長 山本 光興（山本小児科）

谷口 清州（国立感染症研究所感染症情報センター）

教育講演 15:50—16:30

座長 小澤 美和（聖路加国際病院小児科）

### 小児科外来で接する小児外科疾患

岩中 督（東京大学大学院医学系研究科小児外科）

小児科外来で接する小児外科疾患は2種類に大別される。すなわち余り重篤な症状もなく緊急性もないため乳児健診などの際に両親から相談される疾患と、症状があるため日常の外来や救急外来で接する疾患である。前者には軽症の非胆汁性嘔吐症、各種鼠径部疾患、体表疾患などが該当し、後者には腸重積症、急性虫垂炎などの急性腹症や便秘などの排便障害、脱水を伴う嘔吐症などがあげられる。これらの疾患に対する鑑別診断、小児外科医への紹介時期、外科治療に至るまでの経過、具体的な外科的治療法について概略を述べる。

第3グループ 16:30—17:10

座長 田島 剛（博慈会記念総合病院小児科）

#### 8) 日齢12で発症した新生児TSS様発疹症

○斎藤多賀子, 中村 俊紀, 藤井 隆成, 板橋家頭夫（昭和大学小児科）

日齢12, 男児。在胎40週, 体重3,460gで出生した。日齢12に発熱を認めWBC, CRPの上昇もあり入院し抗菌薬を開始した。入院翌日に全身に小丘疹が出現し, 血小板の低下も認め, 臍部培養からMSSAが検出され新生児TSS様発疹症(NTED)と診断した。Vβ2陽性T細胞増幅も確認した。

#### 9) 下肢痛を主訴に来院した恥骨座骨結合部化膿性骨髄炎の1例

○山本 恭平, 後藤 美和, 松嶋 崇浩, 岩田 敏, 輿石 薫, 松原 啓太,  
有馬ふじ代, 桜井 倫子, 岡田 隆文, 緒方 大輔, 込山 修

(独立行政法人国立病院機構東京医療センター小児科)

左恥骨骨髄炎に閉鎖筋膿瘍を合併した7歳男児。初診時の症状は、発熱と下腿背側の疼痛であり診断に苦慮した。小児において、初診時に骨盤骨髄炎と診断される率は低く、またレントゲンや骨シンチのみでは閉鎖筋膿瘍の有無は診断出来ない。本症例では、近年報告されているように、診断にMRIが有用であった。文献的考察を加えて報告する。

#### 10) 小腸に限局する強い炎症を呈した肺炎球菌性敗血症の1例

○村山こず枝, 後藤 知英, 三山佐保子（東京都立清瀬小児病院総合診療科）

6歳女児。腹痛, 下痢, 発熱で発症, 翌日意識障害を呈し入院。JCS10, 筋性防御あり。血液検査上, WBC 31900, CRP 34.2。腹部エコーで広範囲の小腸壁肥厚像と腹水を認めた。血液培養で肺炎球菌が検出され, 肺炎球菌性敗血症と診断。本症例では小腸に限局した強い炎症が特徴的であり, 文献的考察を加え報告する。

#### 11) 右膝関節の発赤・腫脹を主訴に来院された丹毒の1例

○羽賀 洋一, 乾山 光子, 小嶋 靖子, 佐藤 真理,  
松裏 裕行, 小原 明, 佐地 勉（東邦大学医療センター大森病院第一小児科）  
陳 恰如, 高山 悠子, 関東 裕美（同 皮膚科）

症例は7歳女児, 来院4日前の運動中に右膝関節前面を擦り剥き, 翌日から発熱。当日に境界明瞭な腫脹・熱感を伴う発赤を右大腿部から下腿にかけて認めたため来院。右膝擦過部のA群β溶連菌の抗原検査が陽性であり同菌による丹毒と診断された。抗菌薬とステロイドにより症状の改善を認めた。小児期の丹毒につき若干の考察を加え報告する。

## 【平成 21 年総会報告】

議長：伊東三吾先生

報告事項：①第 33 回東日本小児科学会開催 ②平成 20 年度こどもの健康週間事業 ③平成 20 年度庶務報告。  
以上五十嵐会長より報告された。

審議事項：①平成 20 年度決算ならびに監査報告 ②平成 21 年度事業報告 ③平成 21 年度予算案 ④平成 21 年度名誉会員について。以上五十嵐会長より提議され承認された。

文責：事務局

## 【運営委員会だより】

- 3 月の講話会出席者は 235 名、新入会員 8 名、退会者 1 名、会員総数 1,892 名、ベビーシッタールームの使用 6 名。
- 5 月からの新しい教育講演は「小児科日常診療に役立つ関連各科の知識」がテーマです。5 月は東京大学小児外科の岩中督先生に「小児科外来で接する小児外科疾患」をお話しいただきます。小児科医として知っておくべき知識を、他科の専門家からうかがう良い機会ですので、ぜひご出席ください。

## 【演題の申し込みについてのお願い】

- 動画が含まれる場合には、その旨を明示して下さい。動画使用の場合には、具体的な注意事項を、折り返し事務局よりご連絡いたします。
- 原則として指定発言をつけて下さい。
- 演題の締切は次のようになります。

講話会開催月	演題締切	講話会開催月	演題締切	講話会開催月	演題締切
1 月	前年 11 月 30 日	2 月	前年 12 月 31 日	3 月	1 月 31 日
5 月	2 月 28 日	6 月	4 月 30 日	7 月	5 月 31 日
9 月	6 月 31 日	10 月	8 月 31 日	12 月	9 月 31 日

申込演題が 12 題以上になった場合、さらに 1 回先になることがありますのでご了承ください。  
その場合、事務局よりご連絡します。

## 【演者の先生方へのお願い】

一次抄録は 160 字以内に。また、二次抄録は日本小児科学会雑誌に掲載されますので規定の 200 字以内を厳守くださるようお願いいたします。（原稿は活字もしくはワープロ文字で）

出席した会員に発表の意味をより強く、明確に伝えるために、最後（または適切な時期）に Take Home Message（この発表から学ぶこと）を手短な一文で記したスライドを付け加えて頂くようお願いいたします。

## 【会員登録事項の変更届についてのお願い】

- 自宅、勤務先の住所（プログラム送付先）等の変更または、改姓があった場合は、速やかに東京都地方会事務局までご連絡下さい。登録事項変更届出用紙をご送付いたします。
- 退会される場合も必ずご連絡ください。そのお届けがない場合は次年度も継続として年会費の請求を致します。

東京都地方会事務局 TEL：03（5388）7007/FAX：03（5388）5193

## Presentation について

発表は Computer Presentation (Windows) のみで受け付けます。Powerpoint 2000 以上で作成、Font 文字は Powerpoint 備え付けのみ。CD-R もしくは USB メモリーにて、第 1、2 グループ発表者は午後 1 時 30 分までに、第 3 グループ以降の発表者は午後 3 時までにスライド受付まで持参して下さい。機器操作は、当方で行います。あらかじめウイルス check をお願いいたします。

動画が含まれる場合には、ファイルのセーブ法などの注意事項がありますので、学会事務局に必ずご連絡ください。なお、当日なんらかの理由でうまく作動しない場合には、動画なしでご発表いただくことになることをご了承ください。

※ Vista には未対応です。Mac は使用できません。あらかじめファイルを Windows にて保存し直した上でご持参ください。

## 〈ベビーシッタールーム開設のお知らせ〉

乳幼児を同伴される方のために、ベビーシッタールームを開設します。利用ご希望の方は、利用日の 1 週間前までに事務局へお申し込み下さい。申し込みの際、お預けになるお子様の氏名・年齢・性別・及び預けられる時間帯を伺います。利用当日、お子様が好きな食べもの・飲料・おもちゃ・着替え・おむつなどに名前を付けてご持参下さい。また申し込み受付後、問診票に記載していただきますことをご了承下さい。キャンセルされる場合は、3 日前までにご連絡をお願いします。なお費用は学会が負担いたします。

日本小児科学会東京都地方会事務局 TEL 03-5388-7007/FAX 03-5388-5193

WAKODO

乳幼児用イオン飲料

# アクアライト ORS

## 乳幼児の電解質・水分補給を新提案！

水分・電解質の吸収率を高めるため、浸透圧を 200mOsm/L と低くしています。

酸味を抑え、乳幼児が飲みやすいりんご風味です。

人工甘味料・保存料等は一切使用しておりません。



125mL×3個パック



乳幼児にとって理想的なバランスで電解質を補うことができます。  
125mLの飲み切りサイズです。

和光堂株式会社 お客様相談室フリーダイヤル 0120-88-9283

●インターネットで和光堂情報を提供しています。http://www.wakodo.co.jp